

NEWTONE

フォームリサイズコンポーネント

ResizeKit2

VB

Delphi

C++Builder

プログラミングマニュアル

目次

1. 動作環境	3
2. お問い合わせについて.....	4
3. インストール	5
4. コントロールリファレンス.....	11
5. 作成したアプリケーションの配布	25
索引	26

※表記中の社名、製品名などは各社の商標又は登録商標です。

※本仕様、及び価格などは予告なしに変更する場合があります。

1. 動作環境

1) 対応プラットフォーム

日本語版 Windows 2000/XP(32ビット)/Server 2003(32ビット)/Vista(32ビット)/Server 2008(32ビット)/7(32ビット)

* Delphi XE2 用のみ 64ビット OS に対応

2) 対応コンテナ

製品	コンテナ
ResizeKit2 VB	VisualBasic 5.0(ServicePack2 以上)/6.0
ResizeKit2 Delphi5	Delphi 5
ResizeKit2 Delphi6	Delphi 6
ResizeKit2 Delphi7	Delphi 7
ResizeKit2 Delphi2005	Delphi 2005(Win32)
ResizeKit2 Delphi2007	Delphi 2007 for Win32
ResizeKit2 Delphi2009	Delphi 2009
ResizeKit2 Delphi2010	Delphi 2010
ResizeKit2 Delphi XE	Delphi XE
ResizeKit2 Delphi XE2	Delphi XE2
ResizeKit2 C++Builder5	C++Builder 5
ResizeKit2 C++Builder6	C++Builder 6
ResizeKit2 C++Builder2007	C++Builder 2007
ResizeKit2 C++Builder2009	C++Builder 2009
ResizeKit2 C++Builder2010	C++Builder 2010
ResizeKit2 C++Builder XE	C++Builder XE
ResizeKit2 C++Builder XE2	C++Builder XE2
ResizeKit2 BDS2006	Borland Developer Studio 2006(C++Builder/Delphi for Win32)
ResizeKit2 RAD Studio XE2	RAD Studio XE2(C++Builder XE2/Delphi XE2)

2. お問い合わせについて

弊社にお問い合わせされる場合は、以下の項目をお知らせいただきますようお願いいたします。

ユーザ情報

- 1) ユーザ ID (ユーザ登録後に弊社より返送される書類やメールに記載されている番号 UID-XXXXXX)
- 2) お名前 (法人登録の場合は、会社名も併せてお知らせください。)
- 3) ユーザ登録している電話番号、FAX 番号もしくはメールアドレス
- 4) 有償サポート契約を結ばれている方は契約番号

製品に関する情報

- 1) 製品名
- 2) バージョン
- 3) 製品のシリアル No.
- 4) ActiveX もしくは BPL ファイルのタイムスタンプ

開発環境に関する情報

- 1) OS
- 2) 開発コンテナ
- 3) 利用形態 (ActiveX or VCL)

ご質問の内容

どのようにしたらその症状が発生するのか、あるいはどのような事柄が聞きたいのか、できるだけ簡潔にご説明ください。文章で説明するのが難しい場合は、再現性のあるプログラムをメールにて添付していただいた方がよりスムーズに解決する場合がございますので、その場合はプログラムを LZH もしくは ZIP 形式で圧縮していただき、お送りください。また、製品とは関係のないプログラミング技法や WindowsAPI などに関するご質問にはお答えいたしかねますので、予めご了承ください。

問い合わせ先

「お使いになる前に」(パッケージ版は同梱の折込案内、ダウンロード版は別の PDF ファイル)のサポートについてをご覧ください。

注意

ユーザ登録された方がサポート対象となります。

3. インストール

ResizeKit2 VB の場合 (Visual Basic5.0/6.0 用)

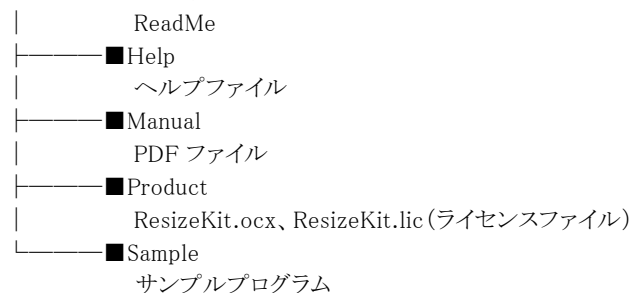
●インストール方法

「RsKit2VB.exe」を実行して、その後は指示されるメッセージに従ってインストールを進めてください。

●インストール後のフォルダ構成

インストール後のフォルダ構成と、インストールされる各ファイルは以下の通りです。

■インストール時指定したフォルダ



※ライセンスファイルは、ResizeKit VB での開発時のみに必要です。ユーザへは絶対に配布しないで下さい。

●インストール後の手順

ResizeKit2 VB のインストール後、ActiveX コントロールを使用して開発を行うには以下の手順が必要です。

開発環境への組み込み

1. VisualBasic を起動します。
2. 「プロジェクト(P)」メニューから「コンポーネント(O)」を選択します。
3. 「コントロール」から[ResizeKit ActiveX Control]を選択して「OK」ボタンを押します。

※本コントロールをインストールすると、レジストリへは自動的に登録されますが、その後手動で行いたい場合は以下の解説をお読みください。

●レジストリの登録及び解除について

手動で ActiveX をレジストリに登録したり解除したりする場合は、

(登録)「REGSVR32 "`<path>% ResizeKit.ocx`"」

(解除)「REGSVR32 /U "`<path>% ResizeKit.ocx`"」

と実行します。

オプションをつけて、レジストリ登録・解除を実行する場合は、Windows の「ファイル名を指定して実行」などを使用します。

※`<<path>`は ActiveX が存在するパスを指します。

ResizeKit2 Delphi5,ResizeKit2 Delphi6,ResizeKit2 Delphi7,ResizeKit2 Delphi2005,ResizeKit2

Delphi2007,ResizeKit2 Delphi2009,ResizeKit2 Delphi2010,ResizeKit2 Delphi XE,ResizeKit2 Delphi

XE2 の場合

(Delphi 5/6/7/2005/2007/2009/2010/XE/XE2 用)

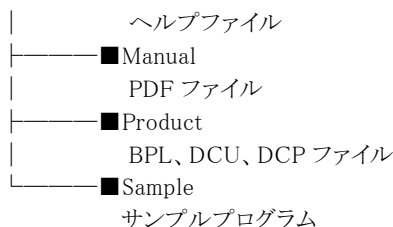
●CD-ROM のフォルダ構成

ダウンロード版は zip ファイルを解凍すると次のフォルダが作成されます。

■Delphi? (?は Delphi のバージョン番号を表し、ResizeKit Delphi7 の場合は Delphi7 となります。)



インストール



●インストール方法

必要なファイルを開発環境にコピーし、コンポーネントを組み込みます。

■ResizeKit2 Delphi5

- 1) Delphi5¥Product に含まれている ResizeKitPKD5.bpl を Delphi 5 の Bin フォルダに、その他のファイルを Lib フォルダにコピーします。
- 2) Delphi 5 を起動し、「コンポーネント」-「パッケージのインストール」メニューを選択します。
- 3) 「設計時パッケージ」で「追加」ボタンを選択し、ResizeKitPKD5.bpl を指定し「開く」ボタンを選択します。(成功すると、実行時パッケージにもパッケージが登録されます。)
- 4) 「OK」ボタンを選択し、ダイアログを閉じます。

■ResizeKit2 Delphi6

- 1) Delphi6¥Product に含まれている ResizeKitPKD6.bpl を Delphi 6 の Bin フォルダに、その他のファイルを Lib フォルダにコピーします。
- 2) Delphi 6 を起動し、「コンポーネント」-「パッケージのインストール」メニューを選択します。
- 3) 「設計時パッケージ」で「追加」ボタンを選択し、ResizeKitPKD6.bpl を指定し「開く」ボタンを選択します。(成功すると、実行時パッケージにもパッケージが登録されます。)
- 4) 「OK」ボタンを選択し、ダイアログを閉じます。

■ResizeKit2 Delphi7

- 1) Delphi7¥Product に含まれている ResizeKitPKD7.bpl を Delphi 7 の Bin フォルダに、その他のファイルを Lib フォルダにコピーします。
- 2) Delphi 7 を起動し、「コンポーネント」-「パッケージのインストール」メニューを選択します。
- 3) 「設計時パッケージ」で「追加」ボタンを選択し、ResizeKitPKD7.bpl を指定し「開く」ボタンを選択します。(成功すると、実行時パッケージにもパッケージが登録されます。)
- 4) 「OK」ボタンを選択し、ダイアログを閉じます。

■ResizeKit2 Delphi2005

- 1) Delphi2005¥Product に含まれている ResizeKitPKD9.bpl を Delphi 2005 の Bin フォルダに、その他のファイルを Lib フォルダにコピーします。
- 2) Delphi 2005 を起動し、「コンポーネント」-「パッケージのインストール」メニューを選択します。
- 3) 「設計時パッケージ」で「追加」ボタンを選択し、ResizeKitPKD9.bpl を指定し「開く」ボタンを選択します。(成功すると、実行時パッケージにもパッケージが登録されます。)
- 4) 「OK」ボタンを選択し、ダイアログを閉じます。

■ResizeKit2 Delphi2007

- 1) Delphi2007¥Product に含まれている ResizeKitPKD11.bpl を Delphi 2007 の Bin フォルダに、その他のファイルを Lib フォルダにコピーします。
- 2) Delphi 2007 を起動し、「コンポーネント」-「パッケージのインストール」メニューを選択します。
- 3) 「設計時パッケージ」で「追加」ボタンを選択し、ResizeKitPKD11.bpl を指定し「開く」ボタンを選択します。(成功すると、実行時パッケージにもパッケージが登録されます。)
- 4) 「OK」ボタンを選択し、ダイアログを閉じます。

■ResizeKit2 Delphi2009

- 1) Delphi2009¥Product に含まれている ResizeKitPKD12.bpl を Delphi 2009 の Bin フォルダに、その他のファイルを Lib フォルダにコピーします。
- 2) Delphi 2009 を起動し、「コンポーネント」-「パッケージのインストール」メニューを選択します。
- 3) 「設計時パッケージ」で「追加」ボタンを選択し、ResizeKitPKD12.bpl を指定し「開く」ボタンを選択します。(成功すると、実行時パッケージにもパッケージが登録されます。)
- 4) 「OK」ボタンを選択し、ダイアログを閉じます。

■ResizeKit2 Delphi2010

- 1) Delphi2010¥Product に含まれている ResizeKitPKD14.bpl を Delphi 2010 の Bin フォルダに、その他のファイルを Lib フォルダにコピーします。
- 2) Delphi 2010 を起動し、「コンポーネント」-「パッケージのインストール」メニューを選択します。
- 3) 「設計時パッケージ」で「追加」ボタンを選択し、ResizeKitPKD14.bpl を指定し「開く」ボタンを選択します。(成功すると、実行時パッケージにもパッケージが登録されます。)
- 4) 「OK」ボタンを選択し、ダイアログを閉じます。

■ResizeKit2 Delphi XE

- 1) DelphiXE¥Product に含まれている ResizeKitPKD15.bpl を Delphi XE の Bin フォルダに、その他のファイルを Lib¥win32¥release フォルダにコピーします。
- 2) Delphi XE を起動し、「コンポーネント」-「パッケージのインストール」メニューを選択します。
- 3) 「設計時パッケージ」で「追加」ボタンを選択し、ResizeKitPKD15.bpl を指定し「開く」ボタンを選択します。(成功すると、実行時パッケージにもパッケージが登録されます。)
- 4) 「OK」ボタンを選択し、ダイアログを閉じます。

■ResizeKit2 Delphi XE2

- 1) DelphiXE2¥Product¥Win32 に含まれている ResizeKitPKD16.bpl を Delphi XE2 のbin フォルダに、その他のファイルを lib¥win32¥release フォルダにコピーします。また、DelphiXE2¥Product¥Win64 に含まれている ResizeKitPKD16.bpl を Delphi XE2 のbin64 フォルダに、その他のファイルを lib¥win64¥release フォルダにコピーします。
- 2) Delphi XE2 を起動し、「コンポーネント」-「パッケージのインストール」メニューを選択します。
- 3) 「設計時パッケージ」で「追加」ボタンを選択し、Delphi XE2 のbin フォルダの ResizeKitPKD16.bpl を指定し「開く」ボタンを選択します。(成功すると、実行時パッケージにもパッケージが登録されます。)
- 4) 「OK」ボタンを選択し、ダイアログを閉じます。

コンポーネントパレットに「NTCtrl」タブが追加され、その中に ResizeKit コンポーネントのアイコンが表示されます。以上で開発環境への組み込みは完了です。

●ビルドバージョン

次の環境でビルドしてあります。

Delphi 5:	Update Pack 1
Delphi 6:	Update Pack 2 + RTL #3
Delphi 7:	Update 1
Delphi 2005:	Update 3
Delphi 2007:	December 2007 Update
Delphi 2009:	Update 4
Delphi 2010:	Update 5
Delphi XE:	Update 1
Delphi XE2:	Update 1

●実行時パッケージについて

Delphi 5/6/7/2005/2007/2009/2010/XE/XE2 については、「設計時パッケージ」だけでなく「実行時パッケージ」でもご利用頂けます。それぞれのパッケージについての違いなどは、開発ツールのマニュアルをご覧ください。

ResizeKit2 C++Builder5,ResizeKit2 C++Builder6,ResizeKit2 C++Builder2007,ResizeKit2

C++Builder2009,ResizeKit2 C++Builder2010,ResizeKit2 C++Builder XE, ResizeKit2 C++Builder XE2

の場合(C++Builder 5/6/2007/2009/2010/XE/XE2 用)

●CD-ROM のフォルダ構成

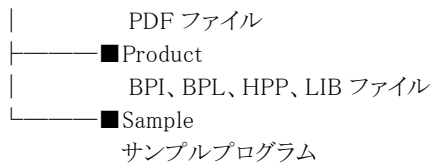
ダウンロード版は zip ファイルを解凍すると次のフォルダが作成されます。

■CBuilder ? (? は C++Builder のバージョン番号を表し、ResizeKit C++Builder6 の場合は C++Builder6 となります。)

```

|
|-----■ Help
|           ヘルプファイル
|-----■ Manual

```



●インストール方法

必要なファイルを開発環境にコピーし、コンポーネントを組み込みます。

■ResizeKit2 C++Builder5

- 1)CBuilder5¥Product に含まれている ResizeKit.hpp を C++Builder 5 の Include フォルダに、ResizeKitPKB5.bpl を Bin フォルダに、その他のファイルを Lib フォルダにコピーします。
- 2)C++Builder 5 を起動し、「コンポーネント」-「パッケージのインストール」メニューを選択します。
- 3)「設計時パッケージ」で「追加」ボタンを選択し、ResizeKitPKB5.bpl を指定し「開く」ボタンを選択します。(成功すると、実行時パッケージにもパッケージが登録されます。)
- 4)「OK」ボタンを選択し、ダイアログを閉じます。

■ResizeKit2 C++Builder6

- 1)CBuilder6¥Product に含まれている ResizeKit.hpp を C++Builder 6 の Include フォルダに、ResizeKitPKB6.bpl を Bin フォルダに、その他のファイルを Lib フォルダにコピーします。
- 2)C++Builder 6 を起動し、「コンポーネント」-「パッケージのインストール」メニューを選択します。
- 3)「設計時パッケージ」で「追加」ボタンを選択し、ResizeKitPKB6.bpl を指定し「開く」ボタンを選択します。(成功すると、実行時パッケージにもパッケージが登録されます。)
- 4)「OK」ボタンを選択し、ダイアログを閉じます。

■ResizeKit2 C++Builder2007

- 1)CBuilder2007¥Product に含まれている ResizeKit.hpp を C++Builder 2007 の Include フォルダに、ResizeKitPKD11.bpl を Bin フォルダに、その他のファイルを Lib フォルダにコピーします。
- 2)C++Builder 2007 を起動し、「コンポーネント」-「パッケージのインストール」メニューを選択します。
- 3)「設計時パッケージ」で「追加」ボタンを選択し、ResizeKitPKD11.bpl を指定し「開く」ボタンを選択します。(成功すると、実行時パッケージにもパッケージが登録されます。)
- 4)「OK」ボタンを選択し、ダイアログを閉じます。

■ResizeKit2 C++Builder2009

- 1)CBuilder2009¥Product に含まれている ResizeKit.hpp を C++Builder 2009 の Include フォルダに、ResizeKitPKD12.bpl を Bin フォルダに、その他のファイルを Lib フォルダにコピーします。
- 2)C++Builder 2009 を起動し、「コンポーネント」-「パッケージのインストール」メニューを選択します。
- 3)「設計時パッケージ」で「追加」ボタンを選択し、ResizeKitPKD12.bpl を指定し「開く」ボタンを選択します。(成功すると、実行時パッケージにもパッケージが登録されます。)
- 4)「OK」ボタンを選択し、ダイアログを閉じます。

■ResizeKit2 C++Builder2010

- 1)CBuilder2010¥Product に含まれている ResizeKit.hpp を C++Builder 2010 の Include フォルダに、ResizeKitPKD14.bpl を Bin フォルダに、その他のファイルを Lib フォルダにコピーします。
- 2)C++Builder 2010 を起動し、「コンポーネント」-「パッケージのインストール」メニューを選択します。
- 3)「設計時パッケージ」で「追加」ボタンを選択し、ResizeKitPKD14.bpl を指定し「開く」ボタンを選択します。(成功すると、実行時パッケージにもパッケージが登録されます。)
- 4)「OK」ボタンを選択し、ダイアログを閉じます。

■ResizeKit2 C++Builder XE

- 1)CBuilderXE¥Product に含まれている ResizeKit.hpp を C++Builder XE の Include¥windows¥rtl フォルダに、ResizeKitPKD15.bpl を Bin フォルダに、その他のファイルを Lib¥win32¥release フォルダにコピーします。
- 2)C++Builder XE を起動し、「コンポーネント」-「パッケージのインストール」メニューを選択します。
- 3)「設計時パッケージ」で「追加」ボタンを選択し、ResizeKitPKD15.bpl を指定し「開く」ボタンを選択します。(成功すると、実行時パッケージにもパッケージが登録されます。)
- 4)「OK」ボタンを選択し、ダイアログを閉じます。

■ResizeKit2 C++Builder XE2

- 1)CBuilderXE2¥Product に含まれている ResizeKit.hpp を C++Builder XE2 の Include¥windows¥vcl フォルダに、

- ResizeKitPKD16.bpl を bin フォルダに、その他のファイルを lib¥win32¥release フォルダにコピーします。
- 2) C++Builder XE2 を起動し、「コンポーネント」-「パッケージのインストール」メニューを選択します。
 - 3) 「設計時パッケージ」で「追加」ボタンを選択し、ResizeKitPKD16.bpl を指定し「開く」ボタンを選択します。(成功すると、実行時パッケージにもパッケージが登録されます。)
 - 4) 「OK」ボタンを選択し、ダイアログを閉じます。

コンポーネントパレットに「NTCtrl」タブが追加され、その中に ResizeKit コンポーネントのアイコンが表示されます。以上で開発環境への組み込みは完了です。

●ビルドバージョン

次の環境でビルドしてあります。

C++Builder 5: パッチなし
 C++Builder 6: Update Pack 4
 C++Builder 2007: December 2007 Update
 C++Builder 2009: Update 4
 C++Builder 2010: Update 5
 C++Builder XE: Update 1
 C++Builder XE2: Update 1

●実行時パッケージについて

C++Builder 5/6/2007/2009/2010/XE/XE2 については、「設計時パッケージ」だけでなく「実行時パッケージ」でもご利用頂けます。それぞれのパッケージについての違いなどは、開発ツールのマニュアルをご覧ください。

ResizeKit2 BDS2006 の場合 (Borland Developer Studio 2006 用)

●CD-ROM のフォルダ構成

ダウンロード版は zip ファイルを解凍すると次のフォルダが作成されます。

```

■BDS2006
|
├─── ■Help
|       ヘルプファイル
├─── ■Manual
|       PDF ファイル
├─── ■Product
|       BPI, BPL, DCU, DCP, HPP, LIB ファイル
└─── ■Sample
       サンプルプログラム
  
```

●インストール方法

CD-ROM から必要なファイルを開発環境にコピーし、コンポーネントを組み込みます。

- 1) CD-ROM の BDS2006¥Product に含まれている ResizeKitPKD10.bpl を Borland Developer Studio 2006 (以下 BDS2006¥Bin、その他も同様) の Bin フォルダに、ResizeKit.hpp を BDS2006 の Include フォルダに、その他のファイルを Lib フォルダにコピーします。
- 2) Borland Developer Studio 2006 を起動し、「コンポーネント」-「パッケージのインストール」メニューを選択します。
- 3) 「設計時パッケージ」で「追加」ボタンを選択し、ResizeKitPKD10.bpl を指定し「開く」ボタンを選択します。(成功すると、実行時パッケージにもパッケージが登録されます。)
- 4) 「OK」ボタンを選択し、ダイアログを閉じます。

コンポーネントパレットに「NTCtrl」タブが追加され、その中に ResizeKit コンポーネントのアイコンが表示されます。以上で開発環境への組み込みは完了です。

●ビルドバージョン

モジュールは Update2 を適用した環境でビルドしてあります。

●実行時パッケージについて

「設計時パッケージ」だけでなく「実行時パッケージ」でもご利用頂けます。それぞれのパッケージについての違いなどは、開

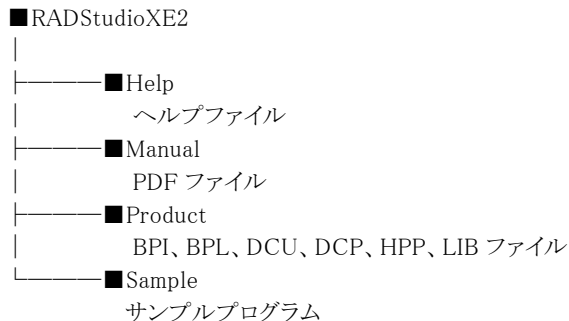
インストール

発ツールのマニュアルをご覧ください。

ResizeKit2 RAD Studio XE2 の場合 (RAD Studio XE2 用)

● CD-ROM のフォルダ構成

ダウンロード版は zip ファイルを解凍すると次のフォルダが作成されます。



● インストール方法

必要なファイルを開発環境にコピーし、コンポーネントを組み込みます。

- 1) RADStudioXE2¥Product¥Win32 に含まれている ResizeKitPKD16.bpl を RAD Studio XE2 の bin フォルダに、ResizeKit.hpp を Include¥windows¥vcl フォルダに、その他のファイルを lib¥win32¥release フォルダにコピーします。また、RADStudioXE2¥Product¥Win64 に含まれている ResizeKitPKD16.bpl を RAD Studio XE2 の bin64 フォルダに、その他のファイルを lib¥win64¥release フォルダにコピーします。
- 2) RAD Studio XE2 を起動し、「コンポーネント」-「パッケージのインストール」メニューを選択します。
- 3) 「設計時パッケージ」で「追加」ボタンを選択し、RAD Studio XE2 の bin フォルダの ResizeKitPKD16.bpl を指定し「開く」ボタンを選択します。(成功すると、実行時パッケージにもパッケージが登録されます。)

コンポーネントパレットに「NTCtrlI」タブが追加され、その中に ResizeKit コンポーネントのアイコンが表示されます。以上で開発環境への組み込みは完了です。

● ビルドバージョン

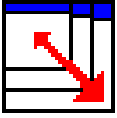
モジュールは Update1 を適用した環境でビルドしてあります。

● 実行時パッケージについて

「設計時パッケージ」だけでなく「実行時パッケージ」でもご利用頂けます。それぞれのパッケージについての違いなどは、開発ツールのマニュアルをご覧ください。

4. コントロールリファレンス

ResizeKit2 VB/Delphi/C++Builder を使用してのアプリケーションの開発は、リサイズコントロールをデザイン時にフォームに配置し、必要な場合はそのコントロールのプロパティを設定します。



リサイズコントロール

リサイズコントロールは、フォーム上に表示されている全てのコントロールとそのフォントのサイズを自動的に調整(リサイズ)します。

※グリッド・スプレッド系コントロール内のセルのフォントサイズやセルサイズなどは、リサイズの対象外となります。

※サードパーティ製(市販)コントロールでもほとんどがリサイズ可能ですが、一部のものや新しいコントロールについてはリサイズ対象外となる場合があります。

【表記上の注意】

●カスタムプロパティやカスタムイベントの型の表記は、以下の通りです。

表記	VisualBasic	C++Builder	Delphi
<i>integer</i>	Integer	short	SmallInt
<i>long</i>	Long	long	Longint
<i>double</i>	Double	double	Double
<i>string</i>	String	AnsiString/UnicodeString	String
<i>bool</i>	Boolean	bool	Boolean

C++Builder 2009 以降は UnicodeString 型で、それ以前の C++Builder は AnsiString 型です。

●カスタムプロパティ、カスタムイベントの【書式】中のコントロール名の表記は以下の通りです。

表記	意味
----	----

resizecontrolname リサイズコントロール名を示します。

<ActiveX> ActiveX コントロール用書式

<VCL> VCL 用書式

※記述が **ActiveX** と **VCL** に分れていない場合は **ActiveX** コントロール用の書式となります。

●解説の中のプログラムについては、VisualBasic 用のコーディング例になります。

●フォームデザイン時の注意 (VCL)

ResizeKit コントロールを配置したフォームのプロパティを

AutoScroll: False

Scaled: False

Position: poDefaultPosOnly or poDesigned or poScreenCenter

に設定して下さい。

●プロパティ一覧

カスタムプロパティ 内容

Enabled	リサイズ機能の設定
FormHeight	フォーム初期表示時の高さの設定

FormMaxHeight	フォームの最大高さの設定
FormMaxWidth	フォームの最大幅の設定
FormMinHeight	フォームの最小高さの設定
FormMinWidth	フォームの最小幅の設定
FormPos	フォームの表示位置の設定
FormWidth	フォーム初期表示時の幅の設定
NoResizeCtl	リサイズを行わないコントロールの設定
NoResizeFntCtl	フォントのリサイズを行わないコントロールの設定
ResizeFont	全コントロールのフォントのリサイズ有無の設定
ValidTaskbar	リサイズ時におけるタスクバーのサイズの考慮の有無を設定

●メソッド一覧

カスタムメソッド	内容
----------	----

DynamicAdd	動的にコントロールを追加した際にリサイズ対象コントロールを更新
-------------------	---------------------------------

DynamicDelete	動的にコントロールを削除した際にリサイズ対象コントロールを更新
----------------------	---------------------------------

メソッドは VCL 専用です。

●イベント一覧

カスタムイベント	内容
----------	----

ExitResize	リサイズの直後に発生
-------------------	------------

Enabled (リサイズコントロール/カスタムプロパティ)

【機能】

リサイズ機能の設定を行います。

【書式】

[*form.*]resizecontrolname.**Enabled** [= *bool*]

【設定値】

値	説明
---	----

True	リサイズの機能を有効にする(初期値)
------	--------------------

False	リサイズの機能を無効にする
-------	---------------

【解説】

Enabled プロパティを False に設定した場合は、フォームを拡大縮小してもリサイズ機能は働きません。

【値の設定】 デザイン時、実行時

【値の参照】 実行時

FormHeight,FormWidth (リサイズコントロール/カスタムプロパティ)

【機能】

フォームを初期表示する時の高さや幅をピクセル単位で設定します。

【書式】

[form.]resizecontrolname.**FormHeight** [= long]

[form.]resizecontrolname.**FormWidth** [= long]

【設定値】

正の整数。(最小値は 0 です。)

初期値は 0 (フォームの高さ、幅の設定なし) です。

【解説】

FormHeight プロパティと **FormWidth** プロパティに、共に 0 より大きい値が設定されている場合、設定された値を基にフォームを表示します。

対象となるのはプログラムの初期起動時など、そのフォームを初めて表示した場合に限られます。

これらのプロパティの片方が 0、もしくは両方が 0 の場合は、フォームの高さや幅はデザイン時の値、又はプログラム中で設定された値になります。

これらのプロパティの設定値は、**FormMaxHeight**、**FormMaxWidth**、**FormMinHeight**、**FormMinWidth** の各プロパティに設定した範囲内の値を設定して下さい。

【値の設定】 デザイン時、実行時

【値の参照】 実行時

FormMaxHeight,FormMaxWidth (リサイズコントロール/カスタムプロパティ)
--

【機能】

フォームの最大の高さや幅をピクセル単位で設定します。

【書式】

[*form.*]resizecontrolname.**FormMaxHeight** [= *long*]

[*form.*]resizecontrolname.**FormMaxWidth** [= *long*]

【設定値】

正の整数。(最小値は 0 です。)

初期値は 0 (フォームの最大高さ、幅の設定なし) です。

【解説】

FormMaxHeight プロパティと **FormMaxWidth** プロパティに、共に 0 より大きい値が設定されている場合、その値がフォームを大きくする時の最大値となります。

設定値以上にフォームを大きくしようとしてもできませんので注意して下さい。

これらのプロパティの片方が 0、もしくは両方が 0 の場合は、フォームの高さや幅の最大値は設定されません。

【値の設定】 デザイン時、実行時

【値の参照】 実行時

FormMinHeight,FormMinWidth (リサイズコントロール/カスタムプロパティ)

【機能】

フォームの最小の高さや幅をピクセル単位で設定します。

【書式】

[*form.*]resizecontrolname.**FormMinHeight** [= *long*]

[*form.*]resizecontrolname.**FormMinWidth** [= *long*]

【設定値】

正の整数。(最小値は 0 です。)

初期値は 0 (フォームの最小高さ、幅の設定なし) です。

【解説】

FormMinHeight プロパティと **FormMinWidth** プロパティに、共に 0 より大きい値が設定されている場合、その値がフォームを小さくする時の最小値となります。

設定値以下にフォームを小さくしようとしてもできませんので注意して下さい。

これらのプロパティの片方が 0、もしくは両方が 0 の場合は、フォームの高さや幅の最小値は設定されません。

【値の設定】 デザイン時、実行時

【値の参照】 実行時

FormPos (リサイズコントロール/カスタムプロパティ)

【機能】

フォームの表示位置を設定します。

【書式】

<ActiveX> [form.]resizecontrolname.**FormPos** [= Integer]
 <VCL> [form.]resizecontrolname.**FormPos** [:= TResizeFormPos]

【設定値】

値	説明
0(rpDefault)	デフォルト(初期又は直前のフォーム位置のまま)
1(rpTopLeft)	左上
2(rpTopCenter)	上中央
3(rpTopRight)	右上
4(rpMiddleLeft)	左
5(rpMiddleCenter)	中央
6(rpMiddleRight)	右
7(rpBottomLeft)	左下
8(rpBottomCenter)	下中央
9(rpBottomRight)	右下

数値は **ActiveX** コントロール用の記述で、()内の記述は **VCL** 用です。
 初期値は 0(rpDefault)です。

VCL 用の TResizeFormPos は以下の様に定義されています。

```
TResizeFormPos = (rpDefault, rpTopLeft, rpTopCenter, rpTopRight, rpMiddleLeft, rpMiddleCenter, rpMiddleRight, rpBottomLeft, rpBottomCenter, rpBottomRight);
```

【値の設定】 デザイン時、実行時

【値の参照】 実行時

NoResizeCtl (リサイズコントロール / カスタムプロパティ)

【機能】

リサイズを行わないコントロールを設定します。

【書式】

[*form.*]resizecontrolname.NoResizeCtl [= *string*]

【設定値】

フォーム上に配置してあるコントロール名。

複数指定する場合はセミコロンで区切って下さい。

例) ResizeKit1.NoResizeCtl = "Command1;File1;List1"

又、VisualBasic の場合にコントロール配列を指定する場合は、インデックスも含めて指定して下さい。

コントロール名だけで全てのコントロール配列を対象にする事はできません。

例) フォーム上に Command1(0),Command1(1),Command1(2)がある時に ResizeKit1.NoResizeCtl =

"Command1(0);Command1(1)"と指定すると Command1(0),Command1(1)のリサイズは行われずに、Command1(2)のみリサイズが行われます。

【解説】

VCL の場合は指定するコントロールの **ParentFont** プロパティを False に設定して下さい。

【値の設定】 デザイン時、実行時

【値の参照】 実行時

NoResizeFntCtl (リサイズコントロール/カスタムプロパティ)

【機能】

フォントのリサイズを行わないコントロールを設定します。

【書式】

[*form.*]resizecontrolname.NoResizeFntCtl [= *string*]

【設定値】

フォーム上に配置してあるコントロール名。

複数指定する場合はセミコロンで区切って下さい。

例) ResizeKit1.NoResizeFntCtl = "Command1;File1;List1"

又、VisualBasic の場合にコントロール配列を指定する場合は、インデックスも含めて指定して下さい。

コントロール名だけで全てのコントロール配列を対象にする事はできません。

例) フォーム上に Command1(0),Command1(1),Command1(2)がある時に ResizeKit1.NoResizeFntCtl =

"Command1(0);Command1(1)"と指定すると Command1(0),Command1(1)のフォントは変更されずに、Command1(2)のフォントのみ変更されます。

全てのコントロール配列のフォントを変更したくない場合は ResizeKit1.NoResizeFntCtl =

"Command1(0);Command1(1);Command1(2)"と指定します。

【解説】

ResizeFont プロパティが True の場合でも、**NoResizeFntCtl** プロパティで指定されたコントロールのみ、フォントのリサイズを行いません。

VCL の場合は指定するコントロールの **ParentFont** プロパティを False に設定して下さい。

【値の設定】 デザイン時、実行時

【値の参照】 実行時

ResizeFont (リサイズコントロール/カスタムプロパティ)

【機能】

フォーム上の全コントロールのフォントのリサイズの有無を設定します。

【書式】

[form.]resizecontrolname.**ResizeFont** [= bool]

【設定値】

値	説明
---	----

True	フォントのリサイズをする(初期値)
------	-------------------

False	フォントのリサイズをしない
-------	---------------

【解説】

ResizeFont プロパティが True の場合でも、**NoResizeFntCtl** プロパティで指定されたコントロールのフォントのリサイズは行いません。

【値の設定】 デザイン時、実行時

【値の参照】 実行時

ValidTaskbar (リサイズコントロール/カスタムプロパティ)
--

【機能】

リサイズ時におけるタスクバーのサイズの考慮の有無を設定します。

【書式】

[*form.*]resizecontrolname.**ValidTaskbar** [= *bool*]

【設定値】

値	説明
---	----

True	リサイズ時にタスクバーのサイズを考慮する(初期値)
------	---------------------------

False	リサイズ時にタスクバーのサイズを考慮しない
-------	-----------------------

【解説】

ValidTaskbar プロパティが有効となるのは、フォームのサイズがスクリーンのサイズより大きい場合です。

【値の設定】 デザイン時、実行時

【値の参照】 実行時

DynamicAdd(リサイズコントロール/カスタムメソッド)

【機能】

動的にコントロールを追加した際にリサイズ対象コントロールを更新します。

【書式】

- (1)C++Builder `[form.]resizекitcontrolname->DynamicAdd()`
- (2)Delphi `[form.]resizекitcontrolname.DynamicAdd`

【引数】

ありません。

【戻り値】

ありません。

【解説】

動的にコントロールを追加した後にフォームのリサイズを行い、追加したコントロールがリサイズされない場合は当メソッドを実行してください。実行するタイミングは動的にコントロールを追加した後です。

当メソッドを実行しなくても、動的に追加したコントロールはほとんどの場合、正しくリサイズされますが、コントロールの追加と削除を繰り返す場合などは当メソッドを実行することをお勧めいたします。

当メソッドは VCL 専用です。

DynamicDelete (リサイズコントロール/カスタムメソッド)

【機能】

動的にコントロールを削除した際にリサイズ対象コントロールを更新します。

【書式】

- (1)C++Builder `[form.]resizekitcontrolname->DynamicDelete()`
- (2)Delphi `[form.]resizekitcontrolname.DynamicDelete`

【引数】

ありません。

【戻り値】

ありません。

【解説】

動的にコントロールを削除した後にフォームのリサイズを行い、コントロールが正しくリサイズされない場合は当メソッドを実行してください。実行するタイミングは動的にコントロールを削除した後です。

当メソッドを実行しなくても、ほとんどの場合、正しくリサイズされますが、コントロールを削除した後に別のコントロールを追加してリサイズを行う場合は当メソッドを実行することをお勧めいたします。

当メソッドは VCL 専用です。

ExitResize (リサイズコントロール/カスタムイベント)

【機能】

フォームをリサイズした直後に発生します。

【書式】

<ActiveX> Sub *resizecontrolname* **ExitResize**(ByVal XScale As Double, ByVal YScale As Double)
 <VCL> *form.resizecontrolname* **ExitResize**(Sender: TObject; XScale, YScale: Double)

【引数】

XScale: 初期表示時のフォームの幅に対する、リサイズ後のフォームの幅の倍率
 (リサイズ後のフォームの幅 / 初期表示時のフォームの幅)

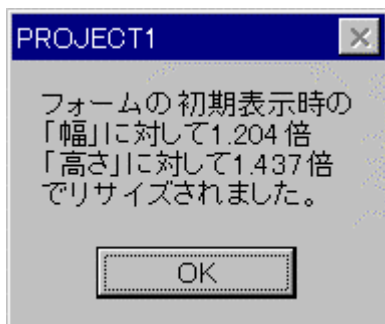
YScale: 初期表示時のフォームの高さに対する、リサイズ後のフォームの高さの倍率
 (リサイズ後のフォームの高さ / 初期表示時のフォームの高さ)

【解説】

フォームをリサイズした直後に行いたい処理をイベント内に記述します。

例)

```
Private Sub ResizeKit1_ExitResize(ByVal XScale As Double, ByVal YScale As Double)
    Dim Mes As String
    Mes = "フォームの初期表示時の" & vbCrLf
    Mes = Mes & "「幅」に対して" & Left(CStr(XScale), 5) & "倍" & vbCrLf
    Mes = Mes & "「高さ」に対して" & Left(CStr(YScale), 5) & "倍" & vbCrLf
    Mes = Mes & "でリサイズされました。"
    MsgBox Mes
End Sub
```



5. 作成したアプリケーションの配布

ResizeKit2 VB を使用して作成したアプリケーションをユーザに配布する場合は、そのアプリケーションの実行時に以下のファイルが必要になりますので、忘れずに配布リストに加えて下さい。

ResizeKit.ocx

OCX ファイルは、通常 Windows のシステムフォルダ (Windows¥System、Winnt¥System32 など) にコピーされるようにセットアップリストのファイルに追加して下さい。

ResizeKit2(Delphi,C++Builder)を使用して作成したアプリケーションをユーザに配布する場合、設計時パッケージで構築した場合は必要なファイルはありませんが、実行時パッケージを使用して構築された場合は、以下のファイルが必要になりますので、忘れずに配布リストに加えて下さい。Delphi XE2 でご利用の場合は、32 ビットと 64 ビットの bpl が用意してありますので、コンパイル方法に適した bpl を配布して下さい。

ResizeKit2 Delphi5:	ResizeKitPKD5.bpl
ResizeKit2 Delphi6:	ResizeKitPKD6.bpl
ResizeKit2 Delphi7:	ResizeKitPKD7.bpl
ResizeKit2 Delphi2005:	ResizeKitPKD9.bpl
ResizeKit2 Delphi2007:	ResizeKitPKD11.bpl
ResizeKit2 Delphi2009:	ResizeKitPKD12.bpl
ResizeKit2 Delphi2010:	ResizeKitPKD14.bpl
ResizeKit2 Delphi XE:	ResizeKitPKD15.bpl
ResizeKit2 Delphi XE2:	ResizeKitPKD16.bpl

ResizeKit2 C++Builder5:	ResizeKitPKB5.bpl
ResizeKit2 C++Builder6:	ResizeKitPKB6.bpl
ResizeKit2 C++Builder2007:	ResizeKitPKD11.bpl
ResizeKit2 C++Builder2009:	ResizeKitPKD12.bpl
ResizeKit2 C++Builder2010:	ResizeKitPKD14.bpl
ResizeKit2 C++Builder XE:	ResizeKitPKD15.bpl
ResizeKit2 C++Builder XE2:	ResizeKitPKD16.bpl

ResizeKit2 BDS2006:	ResizeKitPKD10.bpl
ResizeKit2 RAD Studio XE2:	ResizeKitPKD16.bpl

上記のファイルはカレントまたは Windows のシステムフォルダ (Windows¥System、Winnt¥System32) などのパスの通ったフォルダにコピーして下さい。

その他の必要なファイルについては、開発環境のマニュアルなどをご覧下さい。

索引

C

CD-ROM のフォルダ構成 5, 7, 9

D

DynamicAdd (リサイズコントロール / カスタムメソッド) ... 21

DynamicDelete (リサイズコントロール / カスタムメソッド) 22

E

Enabled (リサイズコントロール / カスタムプロパティ) 12

ExitResize (リサイズコントロール / カスタムイベント) 23

F

FormHeight (リサイズコントロール / カスタムプロパティ) 13

FormMaxHeight (リサイズコントロール / カスタムプロパティ) 14

FormMaxWidth (リサイズコントロール / カスタムプロパティ) 14

FormMinHeight (リサイズコントロール / カスタムプロパティ) 15

FormMinWidth (リサイズコントロール / カスタムプロパティ) 15

FormPos (リサイズコントロール / カスタムプロパティ) ... 16

FormWidth (リサイズコントロール / カスタムプロパティ) 13

N

NoResizeCtl (リサイズコントロール / カスタムプロパティ) 17

NoResizeFntCtl (リサイズコントロール / カスタムプロパティ) 18

R

ResizeFont (リサイズコントロール / カスタムプロパティ) 19

ResizeKit.lic 5

ResizeKit.ocx 5, 24

ResizeKit2 BDS2006 9

ResizeKit2 C++Builder XE 8

ResizeKit2 C++Builder2007 8

ResizeKit2 C++Builder2009 8

ResizeKit2 C++Builder2010 8

ResizeKit2 C++Builder5 7

ResizeKit2 C++Builder6 8

ResizeKit2 Delphi XE 7

ResizeKit2 Delphi2005 6

ResizeKit2 Delphi2007 6

ResizeKit2 Delphi2009 6

ResizeKit2 Delphi2010 6

ResizeKit2 Delphi5 6

ResizeKit2 Delphi6 6

ResizeKit2 Delphi7 6

ResizeKit2 VB 5

ResizeKitPKB5.bpl 7, 24

ResizeKitPKB6.bpl 8, 24

ResizeKitPKD10.bpl 9, 24

ResizeKitPKD11.bpl 6, 8, 24

ResizeKitPKD12.bpl 6, 8, 24

ResizeKitPKD14.bpl 6, 8, 24

ResizeKitPKD15.bpl 7, 8, 24

ResizeKitPKD5.bpl 6, 24

ResizeKitPKD6.bpl 6, 24

ResizeKitPKD7.bpl 6, 24

ResizeKitPKD9.bpl 6, 24

V

ValidTaskbar (リサイズコントロール / カスタムプロパティ) 20

あ

アプリケーションの配布 24

い

イベント一覧 11

インストール 5, 6, 7, 9

インストール後のフォルダ構成 5

か

開発環境への組み込み 5

カスタムプロパティの型 10

こ

コントロールリファレンス 10

コントロール名 10

し

実行時パッケージ 7, 8, 9, 24

せ

設計時パッケージ 7, 8, 9, 24

た

対応コンテナ 3

対応プラットフォーム 3

ひ

ビルドバージョン 7, 8, 9

ふ

プロパティ一覧 10

め

メソッド一覧 11

れ

レジストリの登録及び解除 5

ResizeKit2

VB/Delphi/C++Builder

プログラミングマニュアル

©2002-2011 NEWTONE Corp.

発行 株式会社ニュートン

〒940-0015
新潟県長岡市寿 1-6-43
TEL 0258-24-7900
FAX 0258-24-7905
<http://www.newtone.co.jp/>